



元気に屋台を引く子どもたち(川井地内)

表紙のこぼれ

10月には五穀豊穰を祝う秋祭りが市内各所で行われました。浅羽地域の祭りといえば、稚児流鏝馬が有名です。もともとは梅山八幡、浅岡八幡、浅羽八幡の各神社で行われていましたが、太平洋戦争で中断。平成2年に住民の有志の皆さんが梅山八幡神社の稚児流鏝馬を復活させたそうです。袋井地域でも各地で華やかな屋台が登場し、盛り上がりました。地域ごとにいろいろな歴史や文化が感じられるお祭りばかりです。

市民の動き

人口 / 84,761人 (前月比+110人)

(外国人登録者3,620人含む)

男性 / 42,775人 (前月比+77人)

女性 / 41,986人 (前月比+33人)

世帯数 / 29,207世帯(前月比+83世帯)

平成18年10月1日現在

広報

ふくろい



袋井市の市章

2006年(平成18年)11月1日発行 第39号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

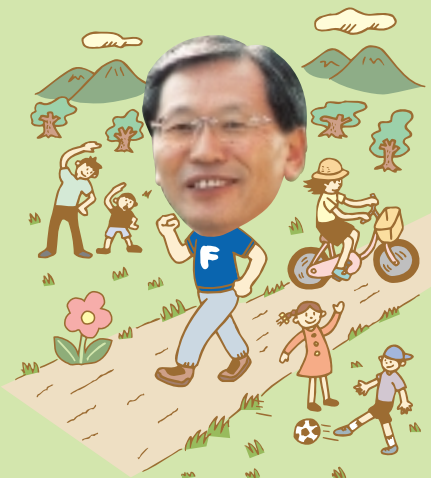


古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



今年の4月からJR袋井駅近くに、子育て支援センターとして「カンガルーのぼっけ」が、5月から市役所近くに、協働のまちづくりの拠点として「ふらっと」が開設された。両方とも大変多くの人に利用されている。

昨年、少子化対策の目玉の子育て支援施設として、どのようなものが必要かを子育て中の母親に話し合っていた。その結果、幼児が自由に活発に思いのままに動き回れる場所が求められていることが分かり、県下でも有数の広い面積のフロアーを備えたセンターが作られた。これが好評で、1日平均250人と予想を上回る親子が訪れ、たくさん用意したつもりの駐車場

が不足気味で困っている。

め、JA遠州中央広岡支店の跡施設を提供した。するとすぐに、NPO法人のグループは、自分たちで机やすいを集め、レイアウトしやすく使いやすい部屋に模様替えした。今では、39団体が利用登録しており、他市からの見学者も

「カンガルーのぼっけ」と「ふらっと」

市民の皆さんから募集して「カンガルーのぼっけ」という温かみのある、だれにも親しみやすい名前が付けられた。NPO法人やボランティアグループに、活発に活動してもらうた

多い。私も仕事帰りに、夜も活動している姿を度々目にする。名前も利用者の方々がみんな平等に使えて、いつでもぶらりと立ち寄れるという意味で「ふらっと」と付けた。

この2つの施設の特徴は、利用する人が中心となって案を出し合っていて、作ったところにある。公の施設ゆえに、公平に平等にということとは当然求められるが、最も大切なことは、よく使われるか否かということである。利用する人と市とが対等な立場で、お互いが責任を持って意見を交わしながら作り上げていくことが、よく使われる施設となるために必要であると思う。